



# 学校だより

令和5年4月7日

4月号

学校教育目標  
～生き生き日枝っ子～

横浜市立日枝小学校



## 「One team , One family」

校長 加藤 智敏

お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。

私が大好きな、学校前の歩道橋からの街の眺めは、春の爽やかな青空のもと、新年度を迎える私たちに、清々しさとピリッとした緊張感を味わわせてくれます。

本日、新1年生95名を迎え、創立113年目を迎える日枝小学校の2023年度がスタートしました。新型コロナウイルスへの対応も変わりつつある中、子どもたちの健康と安全、そして、一人一人の学びと育ちを今年度もしっかりと支えていきたいと思っております。

3月、卒業式の前日に行われた、「卒業生を送る会」では、全校児童が校庭に集って輪になり、それぞれの学年から、卒業する6年生に感謝の言葉やメッセージ、歌などが贈られました。子どもたちの温かな目や6年生の巣立ちを心から喜び、そして、別れを惜しむ様子は、まさに家族のようでありました。改めて、人が集うことや関わり合うことの大切さ、学校としての意味や価値、役割を実感しました。

学校では、様々な場面でやりとりや関わり合いが見受けられます。子ども同士のものあれば、子どもと教職員、子どもと外部講師、子どもと教材と多岐に渡ります。それは時に言語の隔たりを越え、豊かなコミュニケーションと協働の中で問題解決が図られていきます。社会の縮図そのものと言えるかもしれません。教育のデジタル化が図られていくことを見据え、今年度は端末の持ち帰り試行やデジタルドリルの導入等を行います。ICT機器の活用に限らず、様々なツールや言語、学びの中で得た知識を操り協働していく力を教育活動を通して育てていきます。

子どもたちには、「自分でできること」「人のためにできること」を増やして欲しいことを昨年度一年間伝えてきました。まさに「自立貢献」、今年度も大切にしていきます。そして、今年度は歩を進め、「自主・自立（自律）・自治」を意識し、各教科の授業や行事を通して、子どもたち自身が様々な課題や問題を、学級で、学年で、学校全体で考え、解決し、よりよいものにすることが出来る力を付けて欲しいです。自分たちが「変える」、「創り出す」という意識をもてるようにしていきます。そして、「自治」に際しては、「このルールだと、あの子が取り組めない。」「これじゃみんなが楽しめない。」と、いつも仲間一人一人に目を向けることができる、親和性の高い集団、心理的安全性にあふれた集団の創造を目指していけるよう支援していきたいと思っております。

このような子どもたちの主体性や協働性、問題解決力やコミュニケーション力を豊かにするには、学校だけでは限りがあります。保護者や地域の皆様、関係諸機関の協力、学校運営への参画があってこそ広がり、深まるものと思っております。ぜひ、皆様のお力をお借りし、一つのチーム、一つの家族のような、強い連携と温かい関わりをもって子どもたちを育てていきたいと思っております。

「子どもたちのために人が集える学校」の創造を今年も進めて参ります。今年度も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。